

アユの漁獲および資源の状況について

1. アユ苗の漁獲状況

- エリによるアユ漁は 2 月 10 日から再開。
- 2 月 28 日までの 2 月期の累積漁獲量は 2,135kg。
- 2 月期の 1 日平均漁獲量は 194kg (H20~28 年の平均 160kg)。
- エリ漁獲のアユ苗注文量 3,500kg に対し、充足率 61%。
- 3 月期のアユ苗は 3 月 7 日までの累積漁獲量 652 kg。3 月の注文量 2,650kg に対する充足率は 24.6%。

(参考)

- ・12 月期のアユ苗注文量は 22,200kg のところ、1 月 15 日(漁開始から 42 日目)まで操業し、累積漁獲量が 20,247kg で 12 月期のアユ漁は一旦休止。
- ・注文量に対する充足率は 91.2%であるが、県内業者は一定充足していることを県漁連により確認。
- ・漁獲量は不漁であった昨年の 2.3 倍であるが、過去 10 年間で 2 番目に低調。

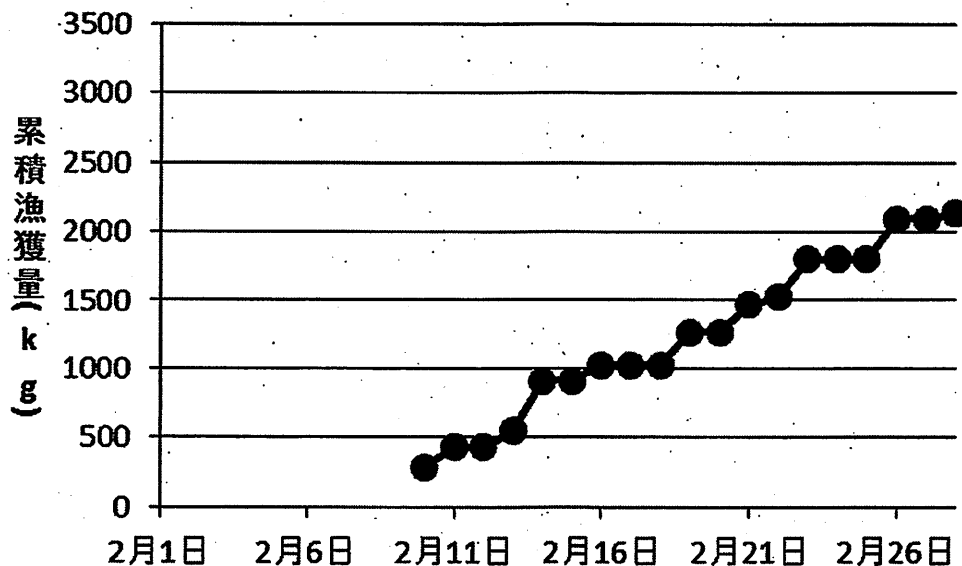


図1 アユ苗の各年度における累積漁獲量

2. アユの資源状況

【周回コースによる2月期の魚群調査結果】

○2月15、16日に調査。

○不漁であった昨年の2月期調査結果に比べて、約1.5倍であるが、平年比では25%と少ない状況（平年比はアユ流下尾数18.4%と同程度）。

表1 月ごとのアユの魚群数

調査月	H30		H29		平年値
	小群換算値	平年比	小群換算値	平年比	
1月	66群	19%	37群	11%	339群
2月	87群	25%	60群	17%	347群

【参考】本年度のアユ流下尾数

	平年	平成29年度	
天然河川	215億尾	5.4億尾	
人工河川	24億尾	38.5億尾	
合計	239億尾	43.9億尾	平年比18.4%

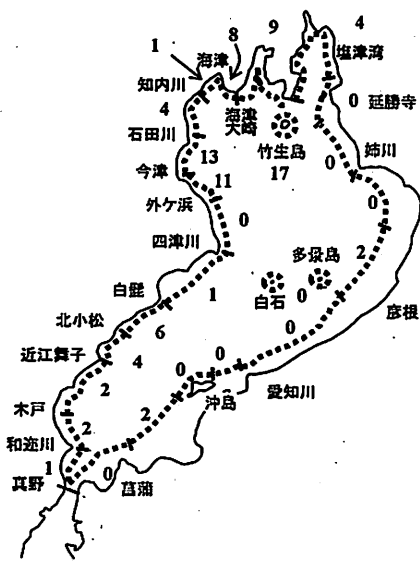


図2 調査水域と魚群数

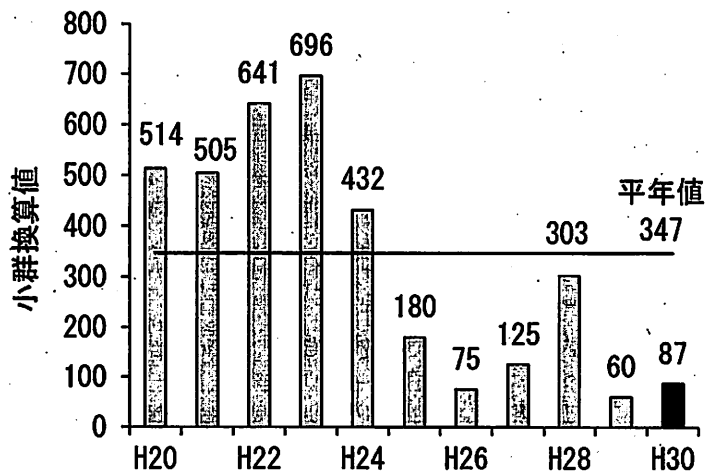


図3 2月の魚群調査結果の経年変化

【横断コースによる1月期の魚群調査結果】

- 1月22日、28日、29日、31日に調査（2月期の調査結果は取りまとめ中）。
- 魚群数は小群換算値で143群であったが、1月期に調査を実施するのは今年が初めてであるため、過去との比較はできない。
- 魚群は主に沖合の中層付近に分布していた（今後、同様の調査を毎月実施）。

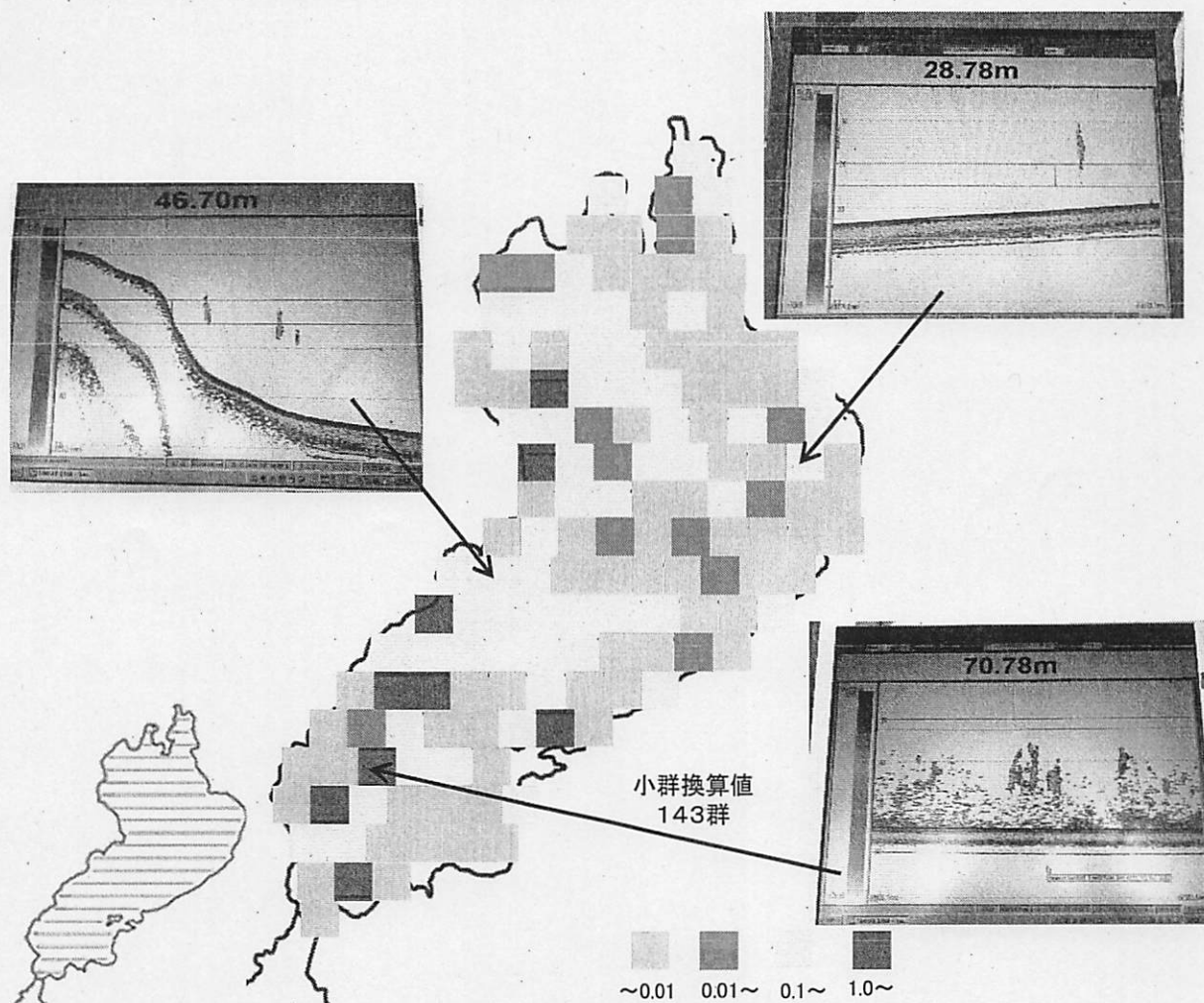


図3 調査定線
(東西方向に21本)

図4 トランセクト調査定線と結果(1月)

4. 今後の対応

- 引き続き、資源状況を注視していく。
- 昨シーズンのアユの不漁原因について、水産試験場と琵琶湖環境科学研究センターが連携し、国立環境研究所琵琶湖分室、国の水産研究機関の助言もいただきながら検証等を進める。
- 漁業関係者と定期的に情報を共有するとともに意見交換を実施。